

厳選良問

～ 理論的内容から実践的内容までを確認する問題 ～

分野	相談援助分野	出典	保育士試験(2017年:社会福祉-問15)
----	--------	----	-----------------------

=====
問題
=====

問題 次の文は、集団援助技術に関する記述である。不適切な記述を1つ選びなさい。

- 1 集団援助技術に不可欠な要素は、ソーシャルワーカー、2人以上のメンバー、メンバー同士の仲間関係、グループの問題解決に必要な社会資源の4つのみであると考えられている。
- 2 集団援助技術の展開過程において、ワーカーとしての保育士は、実際のグループ活動が始まる前の「準備期」、「開始期」においても大切な役割をもつ。
- 3 保育所の5歳児クラスにおいて、保育士は集団援助技術を適用して、メンバー同士の受容や協力関係を利用して、子どもたちの成長・発達を意図することは可能である。
- 4 児童養護施設において、保育士は集団援助技術を適用して、入所している子どもたちの主体性、社会性の伸長を意図することは可能である。
- 5 集団援助技術においても、個別化の原則は遵守されるべきである。

=====
ポイント&解答
=====

資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★★★	★★★	★	★★	★★

注) ★★★…必ず学習!! ★★…できれば学習! ★…余裕があれば確認 ×…学習しなくてOK

試験対策ポイント解説

この問題は、集団援助技術の理論的な内容から実践的な内容まで幅広く確認する内容となっています。同一問題の中に理論的な内容と実践的な内容が混ざっているのは「ダメな問題」とおっしゃる方もいるようですが、この問題に関しては、良い問題だと思います。基本的には「～のみ」「～に限定」といった文言は要注意です。法律関係などの内容では「○」になることも少なくないですが、作問者側の視点でみると、「この文言を入れることで明確に×にしたい」という気持ちを抱きやすいといえます。ですから、各選択肢の内容が全く分からず、正誤判断ができない場合は、「～のみ」「～に限定」といった文言を使用している選択肢は「×」にしてしまうということも、ちょっと有効なテクニックです。

